

コロナ感染東京第二波到来様相



新宿・歌舞伎町を歩き交う人々。9日午後、東京都新宿区

最多224人感染

東京都の新型コロナウイルス感染者数が9日、224人に達し、過去最多を更新した。7月になって連日100人を超えたが、一気に急拡大、それまで政府は10日のイベント制限緩和の方針を維持し、緊急事態宣言の再発令は否定する。だが、感染者の対応に当たる現場からは「第二波」と言える状況だ」との声も。専門家も政府の姿勢を疑問視し、感染拡大防止の具体策を求めている。

東京第2波の様相

【陽性者数だけを見れば、今後もうえていく可能性は高い。一方で、重症者数は6人に上り、この2週間死亡例はない。9日、報道陣の取材に応じた小池百合子都知事は警戒感を示すとともに都の対応に自信も示した。これまで1日の感染者数が最も多かった4月17日(206人)と比べ、PCR検査数は大幅に増えた。7月に入り、友人同士の会食や、家庭内、職場内の感染事例も目立ち、様相は変わってきた。

専門家、政府の楽観を疑問視

政府も都内の空き病床数に「まだまだ余裕がある」と(官邸筋)と楽観を根拠に強める姿勢を疑問視する。ある高官は「検査数が伸びている以上、感染者が増えるのは当然」と楽観論に立つ。10日にはイベントの制限が緩和され、コンサートやプロスポーツは、一定数まで観客の入場が認められる。記者会見では是非を問われた菅野義典副知事は「予定通り」の考えに変わりはないと答えた。

夜の協力金に25億円

東京都は9日、新型コロナウイルス対策に充てる総額約300億円の補正予算案を公表した。新型コロナウイルスの集団感染が起きたホストクラブや夜の繁華街関連の店舗に対し、都内の市区町村が休業要請した際に支払う協力金の補助に約25億円を計上。国が実施する中小事業者への家賃支援の都による上乗せ分約440億円も盛り込んだ。

九州中心に豪雨災害



記録的な大雨で冠水した岩見沢市内の道路をライトをつけて走る車=昨年8月31日

管内自治体も危機感

九州を中心とした豪雨災害を受け、空知管内の複数の自治体で、浸水想定区域や避難所の位置などを記した洪水ハザードマップの周知を強化するとともに、内容の見直しを検討する動きが出ている。自らの住む地域や勤務先の危険性をあらかじめ確認してもらうよう呼び掛けている。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、住民が集まる懇話会や訓練の実施は難しく、対応に苦慮している。

タイムライン」先進地が被災

【九州を中心とした豪雨災害を受け、空知管内の複数の自治体で、浸水想定区域や避難所の位置などを記した洪水ハザードマップの周知を強化するとともに、内容の見直しを検討する動きが出ている。自らの住む地域や勤務先の危険性をあらかじめ確認してもらうよう呼び掛けている。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、住民が集まる懇話会や訓練の実施は難しく、対応に苦慮している。

滝川市、現地情報収集へ

【九州を中心とした豪雨災害を受け、空知管内の複数の自治体で、浸水想定区域や避難所の位置などを記した洪水ハザードマップの周知を強化するとともに、内容の見直しを検討する動きが出ている。自らの住む地域や勤務先の危険性をあらかじめ確認してもらうよう呼び掛けている。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、住民が集まる懇話会や訓練の実施は難しく、対応に苦慮している。

九州中心に豪雨災害

九州を中心とした豪雨災害を受け、空知管内の複数の自治体で、浸水想定区域や避難所の位置などを記した洪水ハザードマップの周知を強化するとともに、内容の見直しを検討する動きが出ている。自らの住む地域や勤務先の危険性をあらかじめ確認してもらうよう呼び掛けている。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、住民が集まる懇話会や訓練の実施は難しく、対応に苦慮している。

景気判断また全地域下げ 日銀報告 09年以來2期連続

地域	7月の判断
北海道	大幅に悪化している
東北	悪化している
北陸	大幅に悪化している
関東	極めて厳しい状態にある
東海	厳しい状態にある
近畿	悪化した状態が続いている
中国	大幅に悪化したあと、厳しい状態が続いている
四国	一段と厳しい動きとなっている
九州	悪化している

二ユース 虫めがね

九州を襲った局地的豪雨は「線状降水帯」が一因とされています。

線状降水帯とは、積乱雲が連続発生し、上空の風に流されながら連なり、付近でぶつかり合い、境界線が梅雨前線になります。ここに南から大量の水蒸気を含んだ付近でぶつかり合い、境界線が梅雨前線になります。ここに南から大量の水蒸気を含んだ付近でぶつかり合い、境界線が梅雨前線になります。

積乱雲が連続発生 局地的豪雨に